



岩国市長と岩国市地域福祉計画素案策定委員会委員の皆様

## 地域福祉の推進に向けて

地方分権の必要性が求められて久しくなりますが、徐々に国から地方への移管が進んでいます。これは、住民にとって身近な地方公共団体の自立性を高めることで、特色ある地域づくりの実現を図ろうとするものです。

しかしながら、「成長」から「成熟」の時代へ転換しつつある現代では、住民のニーズはますます多様化しており、国又は地方公共団体による制度だけでは対応が難しい問題も生まれています。また、住み慣れた地域で生活していこうとする高齢者や障害者の方々は増えており、実現するための支援体制の整備が必要です。

そのような事情を背景に、地域福祉の活性化が求められています。地域が主体となった福祉活動と公的サービスがうまく連携するための仕組みを構築する必要があります。

岩国市では、平成16（2004）年に旧岩国市で策定した「岩国市地域福祉計画」を基本に、「だれもが住み慣れた地域で生き生きと暮らせる社会づくり」の実現に向けた、新たな「岩国市地域福祉計画」を策定しました。この計画をもとに、すべての市民にとって住みやすい地域となるようお互いに協力し、助け合う環境づくりや、地域福祉団体が活動しやすい環境の整備を促進することで、岩国市全域で地域福祉の推進を目指してまいります。

本計画の策定に御尽力くださいました岩国市地域福祉計画素案策定委員会委員の皆様を始め、御協力くださいました関係団体の方々並びに市民の皆様に、心より御礼申し上げます。

平成22（2010）年2月

岩国市長 **福田良彦**